2012～2013 年度
R I テーマ

Peace Through Service
奉仕を通じて 平和を

国際ロータリー会長　田　中　作　次（国籍・日本）

2720 地区

別府中央ロータリークラブ

例会日　火曜日　12 時 30 分
ところ　ホテルニューツルタ 〒874-0920 別府市北浜1-14-15
TEL（0977）22-1110　FAX 21-1019
事務所　別府市西野口町 1 番 1 号 青山通りビル 3F
〒 874-0931　TEL（0977）23-9000
FAX（0977）23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事　髙宮　勝美　　理事　大島由美子　　役員　会　長　髙宮　勝美　　S A A　亀井　孝
〃　森園　伸也　　〃　村津　忠久　　副会長　森園　伸也　　直前会長　亀井　孝
〃　木村きぬゑ　　〃　近藤　賢司　　幹　事　前田　哲矢
〃　森　宗明　　会　計　大江　知巳

VOL．25 -25
2013 年 1 月 15 日

第 1126 回 例 会

会報委員長　河村　貴雄

◆点　鐘　12：30

◆R　S　我等の生業

◆唱　歌　雪

会長の時間　会長　髙宮　勝美

皆さん、こんにちは。会長の高宮勝美です。久し振りに、何時もの例会場に帰って参りました。

さて、昨今の気候の寒暖の大きさと湿度に因って体調を崩されている方が多いと聞いていますが、会員の皆様と家族の方々は如何でしょうか？この、体調を狂わす時期に重なり流行性のインフルエンザが流行期に入りました。今年のインフルエンザの特徴として、予防接種を受けている人も多く感染して、厳しい療養生活を送っている様ですから、暖かく・疲れず・栄養をしっかり補充して身体管理を十分に行い、出来るだけ人ごみを避け、外から帰ったらうがい・手洗いを行い、自分自身で体調がおかしいな…と思った時は早めに医師の診察を受けて外出を控え、周りの人々の健康管理に気を使いましょう。

さて、今日は、既に理事会で承認され例会でも何度かお話させて頂いています、新しい奉仕活動について、新世代委員会の堀委員長より子供の善行表彰に関しての経過報告と概算予算について発表がありますので、皆さんで検討をして頂きたいと思います。初めての企画として当初の予算計上は有りませんが、先日の理事･役員会に於いても、会計担当の大江会員とも話したのですが、50,000円前後の不足金が発生しますが、スマイルボックスからの流用を考えています。

何事も失敗を恐れず、まず、させてみる事です。そこに、その行為に付いて批判をするので無く助言をして下さい。子供の善行を表彰する事により、本人も周りの人々も一寸した善行に注意が向けられロータリークラブの活動を多くの人々に理解して頂きたいと思います。

最後になりましたがこの後、鳴海会員による卓話「私のロータリーライフ」を特に入会間の無い

◆出席報告　出席委員長　平野　英壽

本日の出席	会員総数	27 名
	出席者	18 名
	事前メイクアップ	0 名
	理事会承認	2 名
	出席免除	1 名
	欠席数	6 名
	出席率	69.23 %
前々回の訂正 12/18	出席率	72 %
	事後メイクアップ	2 名
	理事会承認	2 名
	出席免除	2 名
	修正出席率	92 %

連　続　－ 回
通　算　744 回　100 %

・メイクアップ
事前
事後　平野(英)、大江（別府東）
欠席　梶原、亀井、大島、大江、森、佐々木
理事会承認　椛田、岐部
出席免除　溝部

2～3年の会員さんはシッカリお聞き頂き、ロータリークラブの素晴らしさを認識して頂きたいと思います。
以上で会長の時間を終わります。

幹事報告　　前田　哲矢

―ロータリー理解推進月間―

１．本日の卓話
「私のロータリーライフ」鳴海淳郎会員

２．第７回定例理事・役員会報告
（平成25年１月８日（火）18：00～
於：割烹旅館 ゆめさき　７名）

審議事項

１）2012-2013年度後期納入金及び立替金徴収の件。
※会費@11,000円×6ヶ月＝66,000円を@7,500円×6ヶ月＝45,000円に変更する。事務局の維持管理費等の詳細が確定していない為、不足が生じた場合には、明細を付け後期立替金で会費を追加請求する。
２）年次総会議事により、第７回定例理事・役員会に於いてＳＡＡを選出の件。
※高宮勝美会員を選出
３）「別府中央ロータリークラブ子どもの善行表彰制度」予算について。※継続審議
４）１月・２月例会予定の確認
１月１日　「定款第6条第1節(C)に基づき休会」
８日　「新年会」18：30～　於：割烹旅館 ゆめさき
15日　「私のロータリーライフ」鳴海淳郎会員
22日　「大分県の中の朝鮮半島」溝部　仁会員
29日　「ゲスト卓話」大分合同新聞社 編集局報道部記者　友永敬介氏
２月５日　「会員卓話」大島由美子会員、亀井　孝会員
12日　「ゲスト卓話」
19日　「　　　　　」
26日　「第４回クラブ協議会」

３．国際ロータリー第2720地区2012―2013年度地区大会開催のお知らせ
開催日　平成25年３月８日（金）～９日（土）

第１日目／３月８日(金)
〈会長・幹事・ガバナー補佐会議〉
於全労済ソレイユ７Ｆ
15：30～　開会・点鐘　ガバナー挨拶
15：50～　ＲＩ会長代理挨拶
16：20～　大会決議案説明
〈地区指導者育成セミナー〉
16：30～　講演「善き仲間と共に」
RI2770地区吉川RC 中村靖治氏
〈ＲＩ会長代理歓迎晩餐会〉
於大分オアシスタワーホテル５Ｆ
19：00～　開会　～21：00
対象者）地区役員・会長・幹事
〈地区会員交流懇親会〉
於大分オアシスタワーホテル３Ｆ他
19：00～　開会　～21：00
対象者）会員ご夫妻、ご家族
クラブ間交流を目的とした一般会員の方々のための大懇親会

第２日目／３月９日(土)
〈本会議〉
於iichiko総合文化センター・グランシアタ
９：30～　点鐘
10：15～　ガバナー挨拶
10：55～　ＲＩ会長代理挨拶並びにアドレス・ＲＩ現況報告他
11：25～　ガバナーエレクト、ガバナーノミニー紹介・挨拶
11：40～　昼食休憩
13：00～　記念講演
「新世代に伝えるべきこと(仮)」
㈱ローソン代表取締役社長CEO
新浪剛史氏
14：55～　大会各委員会報告
15：10～　各種表彰　～16：30点鐘
登録料　本会議登録料　会員 8,000円
＊ご家族登録費不要
ＲＩ会長代理歓迎晩餐会　会費10,000円
地区会員交流懇親会　会員 8,000円
ご家族 6,000円

４．お祝い
会員誕生日　森　宗明会員（１月16日）
高宮勝美会員（１月18日）
※記念品をお渡し致します。
皆　勤　森　宗明会員（1月18日=18年）

５．例会変更のお知らせ
別府東ＲＣ　１月17日（木）の例会は、例会場の都合の為　同日12：30～ホテル

　　　　　　　サンバリーアネックスに場所変更
大分南ＲＣ　１月18日（金）の例会は、新春夜の親睦例会の為　１月17日（木）18：30～大分センチュリーホテルに日時・場所変更
大分臨海ＲＣ　１月21日（第３月）の例会は例会場の都合の為　同日18：30～いかしょうに時間・場所変更
大分城西ＲＣ　１月23日（水）の例会は新入会員歓迎会のため　同日18：30～ぎんなんに時間・場所変更
別府東ＲＣ　１月24日（木）の例会は、例会場の都合の為　同日12：30～ホテルサンバリーアネックスに場所変更

６．次週の予定
「大分県の中の朝鮮半島」溝部　仁会員
「会員コラム」平野教康会員
＊原稿をお願いいたします。

７．本日の配布
①ロータリーの友１月号
②ガバナー月信No.7
③週報No.1122,1123

スマイルボックス　委員長　大江　知巳

○髙宮会長
皆様インフルエンザが猛威を振るっています。体調管理に気をつけ風邪をひかないように！！

○鳴海会員
遅くなりましたが、改めて新年のご挨拶を申し上げます。このところ当クラブの忘年会、新年会に欠席して申し訳なく思っておりますが、１月８日の新年会は市長との約束もあり、医師会の方に出席させていただきました。
今回は久し振りに本格的に衣装をととのえて≪人生劇場≫を踊りましたが、拍手喝采の雰囲気に、わたし自信これまでになく感激しました。
また、本日は『わたしのロータリー･ライフ』と題して卓話をさせていただきますが、以上に感謝して大いにスマイルしたいと思います。

○平野(教)会員
明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。増員よろしくお願い致します。

○木村会員
今年の正月も無事乗りこえられた事に感謝！
やはりけんちゃんが宴会に出てないと寂しかったよ。特にたかしちゃんが！

○村津会員
今年暮れの「第37回大分第九の夕べ」のソリスト４人が昨日全部決定しました。12月15日の本番に向けて２月１日より団員募集を始めます。成功を祈念してスマイル。

○梅津会員
少し暖かくなってきて、お花の出荷量が増えてきました。昨日のセリ相場が少し下がりましたので、今日から２日間、大分･別府のスーパーマルミヤストア各店でお花どれでも１本100円、５本で300円のセールをやっています。花のあるご家庭が世界中に増えますように。願い込めて。

○佐藤会員
１月１日、家内の誕生日に花を結婚して初めて贈りました。本人を初め、両親も大変喜び「家庭円満」に寄与しております。これを機会に母ちゃんにももっと目を向けていきたいと思っております。

○中尾会員
風邪を引きました。皆さんにうつさない様に食事以外はマスクを付けています。皆様も気を付けて下さい。

○津末会員
明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

○河村会員
今年になってからの出席率100％（小さな声でまだ２回ですけど）。久し振り今年は出席にこだわってゆきたいと思います。

○後藤会員
風邪引いています。近寄らないで下さい。安易に話しかけないで下さい。うつります！！

○近藤会員
皆様明けましておめでとうございます。皆さんに久し振りに会うのがとても楽しみで、早々と会場入りしました。このクラブに入会して以来、一度も飲み会を欠席したことがなかったけど、今年の新年会に出ることができなくて残念で残念でたまりませんでした。来年の新年会には体調を万全にして出席したいと思っています。あれっ！！今、心の中で笑った人がいるでしょう！！その人は鬼ではないですか？ほら来年のことを言うと鬼が笑うって言うじゃないですか^^

卓　話　　　鳴海　淳郎

わたしのロータリー・ライフ（再編）

§はじめに

ロータリー・クラブに入会して42年が過ぎました。これまで色々なことを経験してきましたが、年月を重ねて次のような心境になりました。

わたしはロータリーを信奉する

ロータリーの奉仕とは
"Thoughtfulness of and helpfulness to others"
「他人のことを思い、他人のために尽くす」・・・ 思いやりの心
思いやりの心を人間のみならず、まわりの環境にも

その究極の目的は
"He Profits Most Who Serves Best"
「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

最もよく奉仕するには
"Nothing but the best"
Nothing but the best の奉仕を考える
製造業の場合：これ以上良いものはつくれない
サービス業の場合：これ以上の良いサービスは出来ない
医師の場合：患者さんのために現時点で最善の医療を施す

そのためには
"To dream a new dream"
常に新しい夢を 夢みて
どうすれば他人のためになるか、まわりの環境に役立つか、
常に新しい視点より考え、これを実行に移す。

このような境地に至った動機は、わたしのロータリーの故郷である別府ロータリー・クラブに入会して、はじめての感動がきっかけでロータリーを知ることに努め、色々な役職を果たしてきたことの積み重ねにあると思いますが、今、その思い出をつづってみたいと思います。

§別府ロータリー・クラブにおけるロータリー活動

1970年９月25日、別府ロータリー・クラブに入会させていただきましたが、入会２年目のプログラム委員長をふり出しに、各委員長を次々に務めました。

1972年９月８日、別府ロータリー・クラブ創立20周年記念式典において、その時の余興として初めて「黒田節」を踊ったことを思い出します。

丁度その頃、小堀憲助氏の指導によるロータリーの理論的研究会である千種会という勉強会が開かれており、ロータリーの好きな先輩ロータリアンと共に1973年４月28日より何回か勉強したことを思い出します。

1976年２月15日、日田市におけるIGF

『ロータリーの例会では地域社会の縮図がそこに再現される。即ち、業界の代表が互いに啓発されて高い境地を望み、学び得た高い境地をもって自己の職場、家族、社会を潤すもので、例会に欠席すると自己開発のチャンスを失うことになるが、これは自分の損失だけでなく、社会への責任も負わなくてはならない。』

これは1976年２月15日、日田市におけるIGF（現在のIntercity Meeting＝IM）で、今は亡き薬師寺和寿地区ロータリー情報委員長（津久見RC）から聞いた言葉ですが、入会後間もない私はこの言葉に妙に刺激されたことを思い出します。そして、この時の感動がきっかけでロータリーを更に知ることに努めました。

1977～78年度（幹事を務める）

1977年７月から１年間幹事を務めましたが、幹事就任時挨拶の記録に最近目を通す機会があり、われながら痛感することがありましたので、皆さんにご披露してご参考に供したいと思います。

『大津パストガバナーの自論であるが、クラブ幹事の任務を考える場合、島津の紋章であるマルに十の字を思い浮かべてみるとよい。十の字の４つの端に会長、理事役員、委員会、会員を位置づけ、それらをマルで結ぶと、そのマルに十の字の中心に位置するのがクラブ幹事ということになる。このように幹事はクラブの中核となって会長に協力してクラブ管理に意を用い、理事役員、各委員会、会員との連絡協調をはかって奉仕活動がうまく行くように務め、一方、外部に対してはクラブの窓となってＲＩやガバナー事務所と連絡をとり、絶えずロータリーに関する情報をキャッチしてこれをクラブの組織に伝達する役目を果さねばならない。』と言うのであります。

1978～79年度（交換学生の送り出しと受け入れ）

1978年７月より二度目の国際奉仕委員長を務めましたが、この年の８月に別府クラブから交換学生として選んだ田中秀明君（別府商業高校２年生）が渡米しました。

この田中君を選ぶ際、後にＲＩ会長となられた当時の向笠パストガバナーと当時の国際観光会館にあったロータリー事務局で選考を行い、その場で即決したことを思い出します。

また、これと引き換えに米国・オックスフォード州よりボブ・マルソー君を受け入れました。（1978年８月19日）

1979～80年度（GSE地区委員として）

1979～80年度GSE地区委員を務めましたが、この間、1979年４月17日より５月19日まで池田賢二君（別府・杉乃井ホテル）をGSEの一員としてアメリカ･バージニア州（RI第760地区）に送り出し、これと引き換えに1980年３月20日から４月21日まで、アメリカ・バージニア州よりGSEチーム一行６名を受け入れました。

1981～82年度（Ｒ情報委員長として）

ロータリー情報委員長を務めましたが､この間､新会員のためのロータリー情報集として､「ロータリー・クラブ入会のしおり」を作りました。これは米国カリフォルニア州ウェスト・チェスターＲＣが会員候補者の入会前オリエンテーションのためにつくられた｢A Rotary “Flip Chart”｣(ロータリアン誌1981年５月号掲載）を参考にして作ったもので、その後毎年度のロータリー情報委員長が多少の補足をしながら現在まで受け継がれています。

1986～87年度（会長として）

別府ロータリー・クラブ会長を務めましたが、この間、地域の人々にロータリーというものを知っていただくために「ロータリーは何をしているか」という小冊子を作り、各方面に配布しました。(1986年９月）

1987年４月、職業奉仕委員会の企画で、多数の会員の職業奉仕に対する考えと、その仕事ぶりに対する報告をまとめて「私の職業奉仕」を発行しました。

1987年５月、今年度の意義ある業績賞に選ばれる。

この１月末に提出した報告書「熱心なロータリアンであった故松本得一翁の意志とその業績」

その１．財団法人得愛会、松本記念児童図書館「おじいさんの杜」の設立

その２．別府ロータリー・クラブにおける松本ファンドの設立

が本年度の「意義ある業績賞」に選ばれました。

1988年２月、幸運なことに、このロータリー年度の50回のクラブ例会に出席して行った会長の時間の内容をまとめて小冊子「会長の時間」を発行しました。

1987～88年度

再びロータリー情報委員長を務めましたが、この間、会員のロータリー理解度を試す目的で、小冊子｢ロータリー･テスト｣を作成しました。(1988年12月）

1988年６月

当時の堀田善久当地区ガバナーより、1987～88年度国際ロータリー第272地区において､別府ロータリー・クラブをホストとして結成しようとする新クラブ結成の特別代表に委嘱されました。

その後1988年７月１日、黒木健夫ガバナーより1988～89年度国際ロータリー第272地区特別代表を改めて委嘱され、同時に委嘱された宮本（別府北RC）・千寿（別府東RC）両特別代表補佐と共に1988年７月以降度々協議を重ね、新クラブ結成を目指しました。

以上、別府クラブ時代の思い出を述べましたが、今から考えてみても実に充実した18年間でした。別府中央クラブを設立して、既に20周年を迎えましたが、わたしのロータリーの故郷である別府ロータリー･クラブを忘れることはできません。

§別府中央ロータリー・クラブにおけるロータリー活動
～ 新しいクラブをつくる ～

前述のように、別府市に４番目のロータリー・クラブをつくることになり、当時の故黒木ガバナーより特別代表に委嘱され（昭和63年７月１日)､宮本､千寿両特別代表補佐と共に､スポンサー・クラブである別府・別府北・別府東の３ロータリー・クラブの協力を得て、別府市全域を区域限界とする２階建てアディショナル・クラブ（別府中央ロータリー･クラブ）の設立に成功､1989年(平成元年）３月28日創立総会を開くことができました。

わたしは３月27日付で別府RCを退会して３月28日付で別府中央RCへ移籍し、そのチャーターメンバーとなり、そのうえ新クラブの会長になりました。

特別代表より新クラブの初代会長になったわたしは、すべては初めが肝腎と思い、とにかくロータリーの基本に忠実に｢早くロータリーになじみ、ロータリーを身につけよう」をテーマに、新しいクラブづくりに全力を注ぎました。

即ち、毎例会の「会長の時間」には努めてロータリー情報を提供し、また、ロータリー情報委員会の名に於いて各例会毎にタイムリーなテーマをもとにした「ロータリー用語の解説」を用意し、これを各会員に配布しました。

そして、１年３ヶ月（1989年３月28日～1990年６月30日）にわたり、会長として100％クラブ例会に出席して行った『新しいクラブづくりの記録』をまとめて、小著「私のロータリー・ノート」を発行しました。

1991年３月26日　第102回 創立２周年記念例会において、「別府中央ロータリー･クラブの歌」（作詞･鳴海淳郎、作曲･村津忠久）が発表されました。

その後、「ロータリーと共に」を発行して1990年７月より1994年６月にいたる４年間のロータリー活動の記録をまとめました。

更に、1996年７月より大分県第三分区代理を務めることになり、1994年７月より1997年６月に至る３年間の記録をまとめて「ロータリーと私」を発行しました。

従って、「私のロータリー･ノート」、「ロータリーと共に」、「ロータリーと私」の３部作は、別府中央ロータリー・クラブ創立以来９年にわたる私のクラブ・ライフのすべてです。

※これまで務めたロータリーの役職

・1970年９月　別府ロータリー・クラブ入会、
・1986～87年度：別府ロータリー・クラブ会長
・1988～89年度：特別代表
・1989年　３月：別府中央ロータリー・クラブ創立会員
・1988～89年度：別府中央ロータリー・クラブ初代会長
・1989～90年度：別府中央ロータリー・クラブ初代会長
・1991～92年度：国際ロータリー第2720地区ロータリーの友地区委員
・1992～94年度：国際ロータリー第2720地区ロータリーの友地区委員
・1995～96年度：別府中央ロータリー・クラブ会長
・1996～97年度：国際ロータリー第2720地区 大分第三分区代理
・1998～99年度：国際ロータリー第2720地区 大分第三分区代理
・2000～01年度：国際ロータリー第2720地区ロータリーの友地区委員
・2002～03年度：国際ロータリー第2720地区ロータリーの友地区委員

※国際大会をはじめ、RI関係の会合出席

・1996年アジア地域大会（バンコク）
　　・・・1996年10月25日～27日
・国際ロータリー2004年国際大会（関西）
・メジャー・ドナー午餐会
2001年11月30日：東京・高輪プリンス・ホテル
2002年11月29日：大阪・大阪リーガロイヤル・ホテル
2003年11月28日：東京・新高輪プリンス・ホテル
2004年11月26日：広島・リーガロイヤル・ホテル広島
2006年11月24日：岡山・グランビアホテル岡山
2007年11月21日：東京・ホテル グランパシフィック メリディアン

以上の出席により、“ロータリーの会議では、スケールが大きくなると、それなりの感動が得られる。”と言うことを改めて痛感した次第です。

≪奉仕活動について≫

※職業奉仕を如何に展開してきたか

1）「わたしの職業奉仕」…2004年10月２日RI第2720地区・職業奉仕セミナーのパネリストとして…ロータリー探究 No.164 わたしの職表奉仕（2004/10/1）で紹介
2）皮膚科医としてロータリーに生きる･･･ロータリー探究No.143（2004/4/29）で紹介

※クラブの奉仕プロジェクトへの参加

・もみじ谷植樹作業（平成２年11月４日開始）

※青少年への奉仕

1）1997年２月、大分県第三分区のIMを開催するに当たり、「子どもに思いやりの心を育てるには」というテーマを掲げた「新世代フォーラム」では、有意義なパネルディスカッションを行い、分区代理としての責任を果たしました。
2）また、1999年１月開催の大分県５分区合同のIMで、２回目の分区代理としてその一分科会を担当するにあたり、わたしは「子どもに夢と感動を与えよう」をテーマのもと、「個人としてクラブとしてできることは」ということで、多くの皆さんのご意見を聞くことができました。
3）また、わがクラブの創立10周年を記念して、明日の別府を担う少年少女のために、別府観光の父として著明な油屋熊八翁の生涯をわかりやすく紹介した「少年少女のための油屋熊八物語」を2000部発行して市内の小学校に配布し、学習資料として提供しました。（1999年３月28日）
4）小著紹介
・「ロータリーと新世代への奉仕」…1996年9月発行
・「子供に夢と感動を与えよう」…1999年1月発行
・「少年少女のための油屋熊八物語」…1999年3月発行

※ロータリー情報並びに広報活動の展開

ロータリーのスポークス･パーソンとして、ロータリーを会員は勿論のこと、一般の人にもわかりやすく解説 することに努めました。 ロータリーをＰＲし、更にイメージアップすることにより、これが会員増強にもつながることになると思ったからです。

1）ロータリー物語の発行
・初版 2000年１月23日発行
　ロータリー理解推進月間を記念して2000部発行
・改訂版 2004年３月28日発行
　ロータリー100周年を前に、当クラブ創立15周年を記念して2000部発行
・2004年５月６日、「ロータリー物語」刊行についてケーブルテレビＣＴＢの取材を受け、これが10分ぐらいにまとめられ、12日、13日、14日と３日間にわたり放映されました。
・2004年11月26日・広島リーガロイアルホテルで行われたメジャー・ドナー午餐会で、当時のエステスＲＩ会長並びにラビッツア財団管理委員長に小著をさし上げ、感謝されました。

2）その他ロータリーに関する小冊子の発行：下記の表に示す

3）ホームページ http://www.narumi-clinc.jp
・「ロータリー探究」開設（2001年８月１日）
・開設12年、更新490回（2012年12月23日現在）
・ロータリー情報並びにロータリー広報の徹底
・毎例会において「ロータリー探究」のプリントアウトしたものを逐次会員に配布。

4）わたしとロータリー雑誌とのかかわり
・鳴海クリニック・ホームページ～ お知らせ欄参照
・「ロータリー探究」No.370 わたしとロータリー雑誌とのかかわり（2009/4/19）
・小冊子：ロータリー雑誌と私（平成14年４月作成）

※ロータリーに関する小冊子の発行

ロータリー関係著書

1)ロータリークラブ入会のしおり（新会員のためのロータリー情報）	1981～82 年度
2)ロータリーは何をしているか	1986 年 9 月
3)ロータリーの魅力	1987 年 12 月
4)会長の時間	1988 年 2 月
5)ロータリー・テスト	1988 年 12 月
6)ロータリー・トピックス	1990 年 7 月
7)私のロータリー・ノート	1990 年 8 月
8)ロータリーと共に	1995 年 3 月
9)ロータリーと新世代への奉仕	1996 年 9 月
10)ロータリーと私	1997 年 11 月
11)"He Profits Most Who Serves Best"について思う	1998 年 7 月
12)子どもに夢と感動を与えよう	1999 年 1 月
13)ハーバート・J・テーラーの「我が自叙伝」を読んで	1999 年 3 月
14)ロータリー物語	2000 年 1 月
15)ロータリー財団の父 アーチ C. クランフの人となり	2000 年 5 月
16)会員増強について考える	2000 年 5 月
17)ロータリー礼賛	2001 年 1 月
18)ロータリー雑誌と私	2002 年 4 月
19)ロータリー物語(改訂版)	2004 年 3 月
20)わたしのロータリー・ライフ	2010 年 7 月

※ロータリー財団、米山記念奨学会への寄付

　ロータリアン個人では奉仕活動に限界がありますが、いかなる地域にあっても、どんなに小さいクラブでも、国際ロータリーというネットワークを利用すれば幾らでも道は開けますし、ロータリー財団という窓を通して会員一人一人の力を大きな力に結集させることができ、いささかでも世界の平和に役立つことが出来ます。

1）ロータリー財団への寄付
◎ ポール・ハリス・フェロー（1981年５月22日）
◎ マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
　1990年１月29日～2000年９月26日（８回）
◎ ベネファクター（1994年11月15日）
◎ メジャードナー（2001年８月１日）

2）米山記念奨学会への寄付
日本独自のロータリプログラムで、民間では最大の奨学団体
日本のロータリアン一人一人の双肩にかかっています
米山功労者：第１回；1987年10月22日
　　　　　　第２回；1997年10月28日

※創立20周年記念式典について

　わたしはその記念事業実行委員会委員長を務めましたが、これまでの経験を生かし、次のように、将来の別府に役立つことを考えました。

開催日：平成21年３月29日（日）
会　場：ビーコンプラザ
1．記念演奏会：
　ビーコンプラザ・フィルハーモニアホール
　(15：00～16：30)
2．記 念 式 典：
　ビーコンプラザ・レセプションホール
　(17：00～17：30)
レセプション：
　ビーコンプラザ・レセプションホール
　(17：30 ～ 19：00)

≪記念行事の趣旨≫
　地域社会のため、地域の人々と共に歩くロータリーの姿を、この行事を通じて別府市民にアピールすることにありました。
とくに、わがクラブが如何に別府のことを思い、別府の将来を考えてきたかを、この行事をきっかけに多くの別府市民に訴え、次世代を育むための一助にしたいと思いました。
1．記念演奏会
　とくに、別府の自然をうたった『混声合唱とピアノのための組曲・別府鶴見火山』では、必ずやご来場の皆さんに多大の感動を与え、別府の更なるイメージアップにつながるものとおもいまし

た。

２．別府もみじ谷20周年記念植樹
（平成21年３月15日）

「湯の町ぐるみモミジの森づくり」運動として、1990年に始められた南立石字温水の谷（通称・別府もみじ谷）・・・阿蘇くじゅう国立公園の入口に位する広さ約30ヘクタールの谷で、別府市内を流れる朝見川の源流地域であり、大切な温泉の水源でもある地域・・・の植樹は、以後19年間継続し、今日までに8,442本を植樹しました。また年に２回の草刈り作業も３月と７月に実施していますが、今年は３月15日に「20周年記念植樹」を行いました。この30ヘクタールの谷全体がモミジで覆われたとき、その景観は日本一のものになると思われます。

３．「少年少女のための油屋熊八物語」を2000部発行して、来場の皆さんに配布

これによって、別府観光の父・油屋熊八翁の心を現代の子ども達にも伝え、子どもに夢と感動を与えて、別府の未来を築く人づくりに役立つことを祈った次第です。

§おわりに

以上、わたしのこれまでのロータリー・ライフについて述べましたが、はじめにも申しましたように、いつの頃からかロータリー哲学にとりつかれました。

ここで再びはじめの表をみていただきますと、最後の２つの言葉は、ロータリーの心を自分の職業に生かすために心がけているわたしの好きな言葉ですが、地域のために何か良いこと、新しいことができないか、常に新しい夢をえがきながら毎日の仕事にベストを尽くすよう心がけています。

このようにすれば、年をとるひまもなく、この意味で“ロータリーは青春をつくる”ということができます。

また、その結果として世間の信用が得られ、これがいわゆるProfits（利得）につながり、ひいては地域の活性化に役立つのではないかと思う次第です。

このようなことで、ロータリーに入会後42年、ロータリアンとして87歳を数える現在ですが、益々ロータリーに生甲斐を感じている昨今です。

嘗て75歳の誕生日を迎えるにあたって小著「ロータリー礼賛」を発行したことを思い出します。

これは、それまでの30年にわたる私のロータリー・ライフの中で、とくに先輩ロータリアンやロータリーの雑誌より得られた感動や知識を体験に基いてまとめたもので、将来への希望や願いが込められたものです。

ロータリー礼賛

1．ロータリーは心の友をつくる
2．ロータリーは人をつくる
3．ロータリーは信用をつくる
4．ロータリーは感動をつくる
5．ロータリーは夢をつくる
6．ロータリーは青春をつくる
7．ロータリーは平和をつくる

会員コラム　　森　宗明

「朝」と言う字に込められた事

朝と言う字は「十と日と十と月」の集まった漢字です､これを並べ変えると｢十月十日｣つまり｢とつきとおか｣ですね。受胎して誕生するまでが｢十月十日・とつきとおか」です、これは人智の及ばない自然の摂理「something great」によって決められた「事実」です。つまり朝が来ると言う事は昨日の続きでも無く明日の前の日でも無い、その日その日が「新しく生れた今日」と言う事を文字に込めたようですね｡｢今日一日｣を全てと思い、今日一日にすべてをかける、例えば維新に名を馳せた坂本竜馬はそう言った生き方をしたのではないかと推測します｡生きているって､朝目覚めるって「奇跡」なのですね。